

① マークハンドベル同好会

気の合う仲間が集まり2021年12月に結成。楽譜が読めなくても、色が分かればだれでも簡単にメロディを鳴らすことができるハンドベルを通して親睦を深めています。良かったら一緒にハンドベルを鳴らしませんか？

② 京都リチェルカーレアンサンブル

バロック音楽を当時の楽器を使って演奏することを目的に結成。今回は、霜浦州平(リコーダー)、黒田智子(テオルボ)、原田信子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)で演奏します。

③ bellune

同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻生の4人でフルートカルテットを2021年4月に結成。2021年11月に学校での演奏会で活動開始。今後は関西を中心に色々なところで演奏会活動を展開していきたいと考えています。

④ 京都オカリナアンサンブル雅~MIYABI~

オカリナが大好きなメンバーが集まり2016年に結成。月に一度、植田篤司先生のご指導の下、大小様々なオカリナの音色が1つのハーモニーになった時の心地良さ、音楽になっていくワクワク感に刺激を受けて楽しんでいます。

⑤ Coco Saxophone Quartet

京都を中心に地域の依頼演奏、ロビーコンサートなど幅広く活動しています。メンバー「ココ」の個性を活かしつつ、一体感のある演奏を目指しています。4種類のサクソフォンが奏でる「ココ」ち良いサウンドを、是非お楽しみください。

⑥ 間韶月韶楽団

中国楽器の二胡・打楽器・笛子(ふえこ)の編成で中国曲を積極的に取り入れている楽団です。京都を中心に年に1・2回はイベントで演奏できるよう活動しています。

① 箏に親しむ会

岩倉北地域ふれあいサロンにおいて1998年に発足。日本音楽(箏・三味線)の普及を目指して代表佐々木博代(京都當道会大師範)指導により岩倉北小学校の和室で月2回、土曜日に楽しく練習しています。

② ミューネット京都

2021年10月に結成。有本雅子(メゾソプラノ)、三好結衣(ピアノ)のデュオで発進。今後、各々に活動している音楽愛好家が、ジャンルを問わず、プロ・アマも問わず、その都度魅力的なアンサンブルを組んで、主に京都市内で活動する予定です。「心は自由に、スキルは高く」を目標にしています。

③ ピアノデュオ生寿

ピアノデュオを音楽大学の同期生、田中弥生と山本寿美子で2016年に結成。1台4手のための連弾で、関西を中心にコンサート、ラジオ放送、CD録音等の演奏活動を行なっています。モットーは「人生ますます楽しくピアノを弾く!」です。

④ Tre Sorriso

小谷芳弘(フルート)、小谷嘉子(声楽)、竹山千晶(ピアノ)で演奏グループを2014年に結成。トレ・ソリーズはイタリア語で、トレは「3つ」、ソリーズは「微笑み」です。レパートリーはクラシックから演歌まで幅広く、依頼演奏、礼拝演奏、施設慰問等を精力的に行っています。

⑤ ヴォーチェ・エヴァンジェリカ・コール

中世ルネッサンス期の教会音楽ポリフォニーを歌うアカペラ合唱団として1997年に結成。声部それぞれに旋律を持ち、その旋律が重なり合って、清澄な響きを醸し出すポリフォニーの魅力伝えるべく歌い続けています。

⑥ アルデバラン

同じ大学出身者で、卒業後に木管楽器のアンサンブルグループ“牡牛座会”を結成。小学校や高齢者施設等での演奏活動をしてきました。今回は“牡牛座会”のメンバーから影澤議子(フルート)、小笠原あかり(ピアノ)で演奏します。

⑦ 連弾姉妹ピアチェーレ

それぞれソロで音楽祭などに出演していた藤永由紀・宇仁真紀の姉妹で2016年からピアノ連弾のプログラムを組み、チャリティーコンサート等に出演しています。

**⑧ LIED DUO M & S**

高山幸子(メゾソプラノ)、小林美智(ピアノ)でアンサンブルを始めて早20年。最近ドイツ歌曲の魅力に惹かれて、日本ドイツリート協会主催のコンサートをはじめ、多数の舞台上で演奏しています。

⑨ Trio Gypsophile

同じ大学出身者でチェロ、フルート、ピアノで構成されたトリオグループを結成し2021年に活動開始。団体名のジプソフィル(Gypsophile)はフランス語でかすみ草を意味します。一つ一つは繊細ながら、何本も咲き誇ると圧倒的な存在感を放つ、ジプソフィルのように、折り重なる音の花束を届けたいという想いを込めています。

⑩ 京都スターコーラス

2011年12月に結成。20代~70代の幅広い年齢層がステージ出演等を目標に活動し、今年結成10年の節目を迎えることができました。今後も皆様に希望を届けられるよう演奏活動を続けていきます。